

6. トラブルシューティング

6.1. トラブルシューティング一覧

No.	症状	確認・対処事項	備考
1	装置が全く動作しない	AC 電源が間違いなく供給されているかを確認してください。	No.1, 2 で異常がなく、全く動作しない場合は電源をすぐに切り、ケーブルを抜いて、弊社か購入代理店にご連絡ください。
2		電源ケーブルは正しく接続されているかを確認してください。	
3		装置本体の電源スイッチのランプは点灯するか確認してください。	
4		電源スイッチを入れ直すと、装置内部から動作音がするか確認してください。(電源投入後、動作音が確認できるまで1分ほどかかることがあります)	
5	波長板測定が開始しない	パソコン (Windows) と動作ソフトが正常に起動するか確認してください。	No.5, 6 で異常がないにも関わらず開始/完了しない場合は、すぐに弊社か購入代理店にご連絡ください。
6	波長板測定が開始/完了せずに、 「初期化エラー」 「初期化できません」 「通信できません」 等のエラーとなる	装置本体とパソコンとの通信ケーブルが正しく接続されているか、もしくは装置本体の電源が入っているか確認してください。	
7	波長板測定時に、 「光量異常」 「光量不足」 「光量オーバー」 「波長板の位相差が異常」 「波長板の配向角が異常」 等のエラーとなる	試料台にサンプルが残っていないか確認してください。	No. 7~10 を確認してもエラーとなる場合は、波長板測定の Log ファイル ^{*1} をご準備のうえ、弊社か購入代理店へご連絡ください。
8		光源装置は正しく動作しているか確認してください。(ランプの装着状態、ランプ寿命など)	
9		検光子の上に異物 (サンプルの破片・ゴミ・ほこり等) が無いか確認してください。	
10		光源装置、ランプが弊社からの供給品か確認してください。	

↓ 次ページへ続く ↓

6. トラブルシューティング

No.	症状	確認・対処事項	備考
11	測定結果が異常である (絶対値の異常) (再現性不良)	「低位相差」「標準」「高位相差」等のモード選択は正しいか確認してください。	No. 11 ~ 18 を確認してもエラーとなる場合は、波長板測定の Log ファイル ^{*1} と、標準板の測定データ ^{*2} をご準備のうえ、異常データとなった実サンプル測定結果と併せて弊社へご連絡ください。
12		サンプルホルダの選択や、サンプルの設置方法は測定に適したものとなっているか確認してください。サンプルホルダにセットする場合は、適用サンプル寸法は最大 40mm×50mm です。	
13		光源装置、ランプは正しく動作しているか確認してください。	
14		波長板測定を定期的 (1 日 1 回程度) に行っているか確認してください。	
15		測定サンプルが温度や湿度の影響を受けやすい物質ではないかを確認してください。TAC や PVA などは温湿度の影響を受ける代表例です。	
16		検光子の上に異物 (サンプルの破片、ゴミ、ほこり) が無いか確認してください。	
17		高位相差測定の場合、波長分散式の選択は正しいか確認してください。	
18		光源装置、ランプは弊社からの供給品か確認してください。	

*1: 波長板測定の Log ファイルは、C:\¥HB_Data¥Log フォルダ内に GainData.csv, WaveCross.csv, Wavedata.csv, WavePolAxisdata.csv, ReferencePlateData.csv, WaveEnhengkouData.csv として保存されています。 E-mail 等でご提供ください。

*2: 標準板の測定データは、**5.2. 標準板検定方法**についての項を参照のうえ、標準板の測定データを E-mail 等でご提供ください。

位相差測定 : 標準板 L-430 の入射角依存性・入射角範囲指定・波長分散特性データ
楕円偏光測定 : 楕円偏光板 430 の楕円偏光板測定データ

上表を確認の上、弊社にご連絡いただく場合は、上記の内容を確認できる付属別表のチェックシートに装置の型式名、製造番号、ソフトウェアのバージョン番号も併せてご記入のうえご連絡ください。